



グラランド・ファイナル目指した 美声の競い合いに圧巻！

「UTAWIT(ウタウィット)」は、在日フィリピン人向けメディア「Ready Mass」主催の在日フィリピン人の自慢大会。浜松大会の運営はNPO法人フィリピンナガイサが行っています。ちなみに「UTAWIT」とは、日本語の「UTA(「歌」とタガログ語の「AWIT」(「歌をつなげた造語だそうです。出場者は日本の歌/フィリピンの歌を選んで歌い、審査員によって音程や声の質など項目別に審査が行われます。浜松大会には浜松市、磐田市、豊橋市、岡崎市などから合計8名が出場。優勝者は10月28日に東京で行われるグラランド・ファイナルへの出場権を獲得ができるということで、会場は熱気に包まれていました。

コンテストの間には若者によるダンス披露もあり、終了後にはスポンサーの紹介コーナーや表彰式が行われました。優勝者は浜松在住のカノ・リアンさん。力強い歌声と素晴らしい歌唱力で独特の存在感を放っていました。グラランド・ファイナルへの出場を控えた心境を尋ねる

と「わくわくしている。リラックスして本番に臨みたい」と緊張よりも楽しみたいという気持ちが勝っている様子。アンコールでもステージを楽しむ余裕すら感じられました。

出場者の中には中学生、高校生もいました。「歌手になるのが夢」と話してくれたのは浜松市内の公立中学校に通うアンピス・メグミさん。大勢の人の前で歌うのは緊張したそうですが、シェネルの「Pag-ibig」を日本語で堂々と歌い、家族や友人たちから大きな声援が送られていました。

会場には家族連れも多く、幅広い世代のフィリピン人、日本人約120名が集まりました。厳しく審査を行う大会でありながら、どこかアットホームな雰囲気の中で行われていたのが印象的でした。

(↓) 優勝者は東京で行われるグラランド・ファイナルへの出場権を獲得



(←) リアンさんは今回が2回目の出場。レジン・ヴェラスケス(フィリピン)やピョンセ、ホイットニー・ヒューストンを好んで聴くそうです

(↑) 2位のアーネストさんは昨年のグラランド・ファイナル準優勝という実力の持ち主。ドライビングスクール講師だそうです。ボカルトレーニングの講師もしていました

(→) 大会の間には若者によるダンス披露もあり、会場は大盛り上がり

(↓) 左から4番目がメグミさん 応援に駆けつけた家族、親族と

(←) 会場の外ではフィリピンの軽食やスナック等の販売も!

(↓) 主催者金子アイリーン氏(左)と上位入賞者3名

